

第2回瑞浪市市民まちづくり会議 会議録

■日時：令和3年10月29日(金) 20:00～20:45

■場所：瑞浪市役所 保健センター3階大会議室

■出席委員

高野 雅夫、羽柴 誠、小木曾 文和、谷本 陽子、
大竹 和夫、本荘 恵子、金津 誉、山田 仁美

欠席委員

三宅 芳明

[名簿順 敬称略]

■事務局

小木曾 昌弘（まちづくり推進部長）

加藤 博史（市民協働課長）

渡辺 裕（市民協働課まちづくり支援係長）

中箴 高弘（市民協働課まちづくり支援係主査）

■日程

1. 会長あいさつ
2. 審議事項「まちづくり基本条例」の検証課題について
3. 連絡事項

■議事

事務局 皆さん、こんばんは。講演会に続いての会議となりますが、ただいまより、第2回瑞浪市市民まちづくり会議を開催します。会議冒頭部分のみ、事務局で進行させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。はじめに、新任委員の方とは初顔合わせになりますので、前回ご欠席された委員の方を、事務局より簡単に紹介させていただきます。

金津(かなづ)誉(ほまれ)委員でございます。

金津委員は、青年会議所よりご推薦をいただいております。

(金津委員より自己紹介)

事務局 ありがとうございました。それでは、羽柴会長、ごあいさつをお願いいたします。

【1. 会長あいさつ】

会 長 私はこの1か月の間に、瑞浪市内の小学校と中学校の授業を見る機会がありました。ここ2～3年の様子と比べ、この1年で一気に変わったこととして、子供たちが1人に1台ずつタブレットPCを持ち、授業に活用していることがあげられます。小学1年生の子供たちが、タッチパネルを操作して算数を学んでいる姿におどろかされました。

また、教える側も様々な工夫をし、試行錯誤しながら活用方法を模索している姿は、コロナ禍をピンチでなく、チャンスに変えて取り組んでいる姿であると捉えられます。

一方、運動能力については、この1年間でずいぶん低下してしまったとの、データがあるようです。

この会議は、本日の開催を含め、あと4回が予定されております。その間に、委員の皆様のご意見をいただきながら、幸せ実感都市の瑞浪の実現に向け、市への答申をまとめていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いします。

事務局 ありがとうございます。

本日、三宅委員は都合により欠席との連絡をいただいております。

本日の会議は、委員9名中8名の出席で、本会議の開催要件を満たします。

それでは、羽柴会長（議長）に議事を進行していただきます。

羽柴会長（議長） よろしく申し上げます。

会長 それでは、これより会議を進めてまいります。

委員の皆さまには、慎重な審議をお願いしたいと思います。

会長 それでは、レジメに従い会議を進めたいと思います。

2. 審議事項について、瑞浪市まちづくり基本条例の検証課題について、事務局より説明をお願いします。

事務局 <事務局より説明。>

本日の会議では、皆様からいただいたアンケートの結果を参考に、次回以降、この会議で検証していくテーマを決めさせていただきたいと存じます。

なお、第1回会議で説明させていただいたとおり、まちづくり基本条例第8条「まちづくり推進組織の活動支援」、第9条「域学連携事業の推進」については、瑞浪市として今回検証いただきたい取り組みです。この2つの取り組みは、行政側の提案として、テーマとさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。それでは、資料1をご覧ください。皆様からのアンケート結果となります。皆様には、市の「まちづくり基本条例」の中から、特に検証したい取組を、上位3つ、アンケートでお答えいただきました。資料1は、その順位ごとに、皆様が回答したテーマをまとめたものです。なお、資料の中にあるページは、前回の会議で配布しました、「資料2 瑞浪市まちづくり基本条例に基づく取組み計画」のページとなりますので、ご参照ください。

ご覧のとおり、幅広くテーマが分散しており、まとめるのが難しいと思いますので、まずは事務局の案を提案させていただき、それから皆様のご意見を伺いたいと思います。

会長 <了承>

事務局 <事務局案を配布>

今回の第3回の会議では、市の提案と希望の多かったテーマのうち

① 第9条 14ページ 子ども及び若者のまちづくりへの参加促進
(青少年育成活動)

② 第9条 18ページ 地域学校協働活動の体制整備

③ 第9条 17ページ 域学連携事業の推進

の3つについて検証していただきたいと思います。

この3つはすべて、子ども、若者に関連する事業となります。

また、第4回では、

第7条 5ページ 自治会の活動支援

第8条 9ページ まちづくり推進組織の活動支援

そして資料2から 「空き家活用×移住・定住について」

の3つについて検証したいと思います。

自治会とまちづくり推進組織は、「地域」ということで関連性がありますし、「空き家活用×移住・定住について」は、本日の高野先生の講演会にありましたとおり、地域の活性化、まちづくりにも関連しますので、この3つのテーマは繋がりがああるものと思います。

従いまして、第3回の会議では、「子ども、若者」に関連する事業について検証いただき、第4回の会議では「地域・まちづくり」に関する事業について検証いただくこととなり、テーマのまとまりもよいと思います。それぞれ1回の会議では、検証の時間は1時間半を予定していますので、1つのテーマが30分くらいの検証時間となります。短時間で議論が深まるよう、会議の事前に資料を送らせていただき、また、当日は担当課の事業説明も受け、疑問点も出るかと思っておりますので、質疑応答の時間も設ける予定です。検証はワークショップ形式で行います。

会長 事務局の説明に対し、何か質問はありますか。

<質疑なし>

会長 それでは、事務局の提案のとおり、検証課題を選定することとします。次に、3. 連絡事項となります。事務局より連絡事項をお願いします。

事務局 次回の会議は、令和4年2月頃を予定しております。

会 長 本日は長時間にわたり慎重な審議をいただき、ありがとうございました。
次回は2月中旬以降に開催される予定ということです。
改めて事務局から案内が出ますので、ご承知おきください。
最後に、金津副会長 のあいさつで閉会にしたいと思います。

副会長 本日は慎重審議お疲れさまでした。これにて第2回瑞浪市市民まちづくり会議を閉会
します。

【閉会】